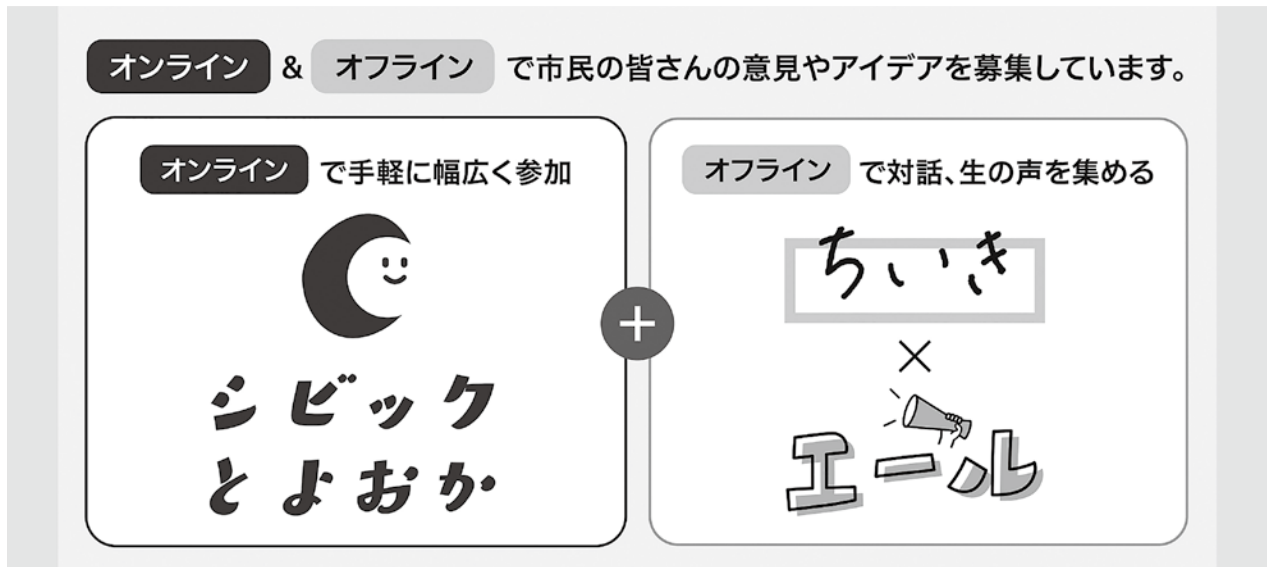


デジタルと対話でみなさんの声を市政に 「シビックとよおか」と「ちいき※×エール」

市では「人と地域に寄り添う市政」の実現に向けて「デジタル」と「対話」それぞれの良さを活用しながら、市民の皆さん一人一人の声を、これまで以上に市政に生かす新たな取組みにチャレンジしています。※「ちいき」の部分は、開催する地域やテーマに応じて名称が変わります。

《問合せ》DX・行財政改革推進課 ☎21-9146



■ だれでも、いつでも投稿できる「シビックとよおか」

これまで、本市が市民の皆さんの意見を聴く仕組みには、パブリックコメント制度や審議会・委員会などがありましたが、事業に関心の高い方や、関係団体・地域の代表者などの意見が中心で、より広い意見聴取に課題もありました。

「シビックとよおか」は、スマホやパソコンから、市の課題や施策について意見を投稿したり、ほかの人の意見を読んだり、対話したりできるオンラインの場です。市が意見を募集する事業や施策へ、場所や時間にとらわれず、自分の考えを届けることができます。



シビックとよおか まずはアカウントを作成しよう




ステップ①

二次元コードを読み取り後※1ログインの表示をタップする
※1:二次元コードを読み取れない方は下記URLをブラウザに入力してください。
URL: <https://toyooka-city.liqid.jp/>

ステップ②

「はじめて利用する」をタップ、アカウント作成画面からLINEで新規登録、またはメールアドレスで新規登録をタップ




※本紙に掲載している情報は編集時点(1月15日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

シビックとよおかで実施中の意見募集

「市政経営方針」や「地方創生総合戦略」の策定に向けた意見募集

- 豊岡市に関すること(もの)で『惜しいな、もう少し頑張って良くしたいな、良くできるのにな』と思うこと(もの)はなんですか？
- 世界の人に知ってほしい『豊岡の良いところは？』
- 市役所が気づいていないだろう『豊岡の良いところは？』

「開庁時間の短縮の試行」についての意見募集

- あなたは開庁時間が短くなったことで、市役所での手続きやサービスの利用についてどのように感じましたか？
- あなたは市役所窓口の代わりに、代替サービスを利用されましたか？
(コンビニ交付、オンライン申請 など)

シビックとよおかに
登録いただいた方へ
オリジナル

LINE スタンプ

プレゼント中



■ 顔を合わせてみんなで話す「ちいき×エール」

「直接話して伝えたい」「デジタルは少し苦手」という方からの意見も大切にしたいとの考えから、ワークショップ型の対話の場「ちいき×エール」による意見募集にも取り組みます。

「ちいき×エール」では、地域で活動する市民の皆さんや市職員がプレゼンターとなり、それぞれが感じている地域の課題を紹介します。参加者は、グループでの話し合いを通して、意見やアイデア、アドバイスを自由に出し合います。



ひだか×エール開催の様子(ワークショップとその結果の共有)



「ひだか×エール」を開催しました

2025年12月19日、初めての「ちいき×エール」を日高地域で開催しました。

行政プレゼンターは日高振興局地域振興課の川角^{かわすみ}洋祐主幹が務め、神鍋の観光の現状と課題をプレゼンし、ワークショップではにぎわいの拠点を目指す「道の駅 神鍋高原」の新たな活用アイデアを募集しました。

市民プレゼンターには民宿志ん屋^{しんや}オーナーの飯田^{いいた}勇太郎^{ゆうたろう}さんを招き、地球温暖化防止の取り組みなどをプレゼンいただき、脱炭素のアクションを地域に広げるためのアイデアを募集しました。

多様な立場の25人の参加者から、ワークショップを通じて2つのテーマにそれぞれ70個を超えるアイデアが出され、行政と市民と一緒に「話し、考える」場となったとともに、現場での共創に向けた仲間づくりの第一歩にもなりました。

～お知らせ～

「たんとう×エール」

日時 3月18日(水)
午後7時～9時
場所 但東庁舎
大会議室

進行役は、松原^{まつはら} 潤^{じゅん}さん(地域おこし協力隊)。



参加申込みフォーム▲



松原 潤さん